

まごころ

第58号

発行日 平成26年3月1日
発行 星が丘地区社会福祉協議会
相模原市中央区星が丘3-1-38
星が丘公民館内
TEL 042-755-9955
編集 広報紙編集委員会



第27回福祉バザー開催 星が丘地区ふれあいフェスティバル会場

10月27日、星が丘地区ふれあいフェスティバルが開催され、今年の「福祉バザー」は公民館内ではなく、このフェスティバル会場の星が丘小学校校庭にて開催されました。

前日雨天で天候が心配されましたが、当日は台風一過の気持ちの良い秋晴れの中、フェスティバル会場には多くの人が集まり、バザー会場もとても賑わっていました。

福祉バザーは、例年通り自治会の協力で品物が集められ、星が丘地区社協の理事やボランティアの皆さんが、品物の分類、値付け、商品陳列から販売まで行います。

衣類、雑貨、洗剤類、食器など、たくさんの商品がテント内にところ狭しと並べられました。

掘り出し物を手に入れようと多くのお客様がバザー開始前から並び、10時の開始早々から会場が賑わいました。

フェスティバル会場内では、福祉バザーや様々な模擬店のほか、移動動物園、ミニパト乗車体験などもあり、幼児やご家族連れにもお楽しみいただけたようです。ステージ上では、チャリデーニングや各種演奏、ダンス等の発表や大抽選会もあり、会場を盛り上げていました。

フェスティバルとの同時開催の効果もあり、福祉バザーの来場者は例年に比べて多く、商品は午後2時にはほとんど売り切れしました。

売り上げは20万円余りとなり、星が丘地区社協の活動に使わせていただきます。

また、当日は昨年の8月25日に行った「星が丘防災スクール」に参加した中学生6人がお手伝いに駆け付けてくれ、共同募金協力依頼の手伝いをしてくれました。坂本会長が打ち鳴らす鐘の後に、2匹のぬいぐるみを着た子、赤い羽根共同募金の旗を持つ子、ハンドスピーカーで呼びかける子、募金箱を持つ子などの行列で共同募金を呼び掛けた結果、来場者の皆さんから多額の募金協力をいただきました。

更に、綿菓子やフランクフルトの販売にも協力していただき、将来の地区社協担い手に育ってくれることを期待しています。

星が丘地区社協創立30周年を迎えます

平成26年4月1日に星が丘地区社協は、地域の皆様に支えられ、創立30周年を迎えることができます。つきましては記念事業の実施に向けて、30周年記念事業実行委員会を組織し準備を進めてきました。

4月には、公民館大会議室にて記念式典及び祝賀会を開催し、30周年記念誌が発行される予定です。

広報紙「まごころ」のサイズが変わります

毎年3回発行される星が丘地区社協の広報紙「まごころ」のサイズが平成26年度より今までのA4版からB4版へと大きくなります。

拡大したことにより、紙面の拡充及び各頁に賛助広告スペースを設けることになり地区社協の自主財源確保も図ります。

なお、賛同いただける法人及び企業等の賛助広告を募集しております。5千円の賛助金で一回掲載いたします。詳しくは事務局へお問い合わせください。

星が丘地区社協事務局
☎(755) 9955 内田・楠野

シリーズ福祉施設紹介 ありす工房

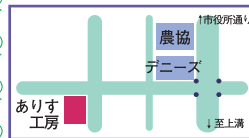
ありす工房は、あなたの町の小さな事業所です。おもに養護学校の高等部を卒業した人たちが社会生活を送っています。

20代から40代の人たちが、ときには泣いたり悩んだりすることもあります。元気に・明るく・楽しく仕事やレクリエーションをしています。

ありす工房に通う人たちは、自分たちの仕事の機織りが大好きです。それは自分の好きな色、好きな糸で、好きなものを織っているから・・・。

でも最近は、使っていたく方のことも考えてデザインすることができるようになりました。

「元気に・明るく・楽しく」を少しずつ成長してきた「ありす工房」は、これからも皆さまに助けていただきながら、また一歩一歩進んでいきたいと考えていますので、よろしく願っています。



相模原市中央区横山2-7-8
Tel.042-776-6548

お悔やみ

前会長の野中 敬一さんが11月30日にご逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げます。

野中さんは平成11年～平成22年まで民生委員を務められ、地域福祉の増進に尽力されました。

平成21年度～24年度は地区社協の会長として、もご活躍されました。

心からご冥福をお祈りいたします。

キャップ・プルタブの回収数

	25年10月～26年2月	19年～累計
ペットボトルキャップ	169.2kg	2038.9 kg (ワクチン約1,019人分)
プルタブ	2kg	289.2 kg (約ドラム缶2本目)

・ペットボトルキャップは1kg(約430個)10円、20円でポリオワクチン一人分になり、NPOエコキャップ推進協会より発展途上国に送られます。

・プルタブはドラム缶約7本で車椅子1台と交換できます。

編集後記

長い間、星が丘地区社協会長を務められた野中敬一さんが、昨年11月末突然亡くなられた。3月に職を辞したことだったので、驚くとともに、まだまだ色々と言葉を頂けたのにと残念でならない。

告別式でオーストラリアに住むお孫さんが「おじいちゃん、愛してるよ」と述べられたのが印象に残っている。

また息子さんが、「口数は少なかったけれど、人の悪口を言うようなことは全くなかった」と話し、奥様は、「家の中でも外でも変わらない穏やかな人だった」と話されていた。

これからもきっと、この地域を、そして地区社協を見守り続けていてくれることだろう。

(N・O)

星が丘地区民生委員・児童委員が改選されました

任期は平成25年12月1日から平成28年11月30日までです

	担 当 区 域	氏 名	電 話 番 号
1	横山2丁目	竹 内 建 二	7 5 5 - 7 3 1 5
2	横山3丁目1～6、8、9、10の13の一部・15・16・18、11～15、16-2・14・16～18 横山5丁目1～10	布 川 悦 子	7 5 9 - 4 7 8 8
3	横山3丁目16-3・4・6・8、17～19、28～31	八 木 鉄 雄	7 5 8 - 3 5 4 5
4	横山3丁目7、10の3～5・7・8・10～12・13の一部、20～27、32、33	宮 本 弘 文	7 5 4 - 2 0 0 5
5	横山6丁目	鹿 俣 克 美	7 5 4 - 9 1 5 1
6	千代田2丁目	吉 川 順 一	7 5 2 - 6 0 6 9
7	千代田3丁目 1～11	蔭 山 肇	7 7 6 - 9 7 1 5
8	千代田3丁目 12～最後	平 本 一 彦	7 5 7 - 0 4 0 0
9	千代田4丁目	鈴 木 勝 行	7 5 6 - 0 0 9 4
10	千代田5丁目 1～8	内 田 涼 子	7 5 5 - 4 1 7 8
11	千代田5丁目 9～最後	佐 藤 啓 治	7 5 5 - 6 0 6 4
12	千代田6丁目 1～7	内 海 秀 男	7 5 5 - 6 2 4 4
13	千代田6丁目 8～12	関 田 勝 利	7 1 2 - 5 1 9 5
14	千代田7丁目 1～5	奥 井 久 子	7 1 2 - 2 3 7 7
15	千代田7丁目 6～最後	西 田 昌 子	7 0 3 - 7 5 0 3
16	星が丘1丁目 1、8～17	富 永 茂 子	7 1 2 - 3 3 2 6
17	星が丘1丁目 2～7、18～22	斉 藤 末 治	7 5 5 - 9 6 1 1
18	星が丘2丁目 1～7	小 澤 保 明	7 5 2 - 6 7 1 7
19	星が丘2丁目 8～最後	下 村 宏	7 3 3 - 7 8 7 6
20	星が丘3丁目 1～9	長 谷 川 カ シ 子	7 5 1 - 0 4 3 3
21	星が丘3丁目 10～最後	三 沢 賢 一	7 5 2 - 3 7 5 6
22	星が丘4丁目 1、3、9～最後	遠 藤 志 津 子	7 5 6 - 1 4 3 7
23	星が丘4丁目 2、4～8	横 田 智 治	7 5 7 - 3 6 6 9
24	主任児童委員	山 田 みちゆき 理 以	7 5 6 - 7 7 3 6
25	主任児童委員	豊 田 里 美	7 6 9 - 0 5 6 4

千代田「こいの広場」 始まります!!

千代田地区の高齢者の「こいの場」と交流の場の提供を目的に、千代田「こいの広場」が千代田7丁目自治会館で平成26年3月14日オープンします。「みんなが気軽に立ち寄れて楽しめる場所があればいいね」という思いで様々な人が広場に協力しています。

11月のお試しオープンでは約70名の参加者があり、おしゃべりをしたり地域の人が手芸・琴・麻雀・将棋を教えたり、外の広場ではグラウンドゴルフを楽しむ様子が見られ、会場内はとても盛り上がりました。

毎月第2金曜日に開催予定です。スタッフ一同温かい笑顔で皆様をお待ちしています。

なお、前号でお願いした麻雀卓、囲碁、将棋、オセロのご提供ありがとうございました。



手芸コーナーでは
楽しそうな声が
響きました

敬老事業 『演芸・落語会』大盛況でした

10月14日(月)、千代田7丁目自治会館(午前)、メイプルホール(午後)を会場に敬老会が開かれました。両会場共、最初に出前道芸一家の皿回しや南京玉すだれを楽しみ、休憩時間を挟んで濱野志隆さんの歌と落語を楽しみました。

落語家の濱野志隆さんは元々はギタリストで、観客を更に楽しませたいと落語も始められたそうです。

地区敬老事業の一環として 『高齢者顕彰事業』を創設

市の敬老祝金等支給事業の見直しに伴い、平成25年度より「地域貢献活動が顕著である高齢者に対し顕彰や感謝の意を表する経費を加算」でできることになりました。

これを受けて、星が丘地区社協では『高齢者顕彰事業』を創設することとし、実施要領を作成して選考を進めてまいりました。

その結果、次の10名の方を今年度表彰対象者とし、10月27日に開かれた「星が丘地区ふれあいフェスティバル」の舞台上で表彰いたしましたのでお知らせいたします。



ふれあいフェスティバルで
表彰される皆さん

今年度表彰者は次の方々です。

(敬称略)

老人会推薦…田村實、齋藤八重子、土屋新太郎、小野沢健次、市橋英治、原忠男、鈴木巖
いきいきサロン推薦…高橋工、高橋幸子、村田和也

みんなのつどい を開催

みんなのつどいは、昨年11月23日午前10時から正午まで、星が丘公民館をメイン会場にして開催されました。

昨年に引き続きミニツリー作り、クリスマスカード作り、グラウンドゴルフ、ペットボトルキャップ・プラタプの回収を行うとともに、今回は新たにキーホルダー作りが加わり、参加者は昨年の140名を大きく上回る200名以上となり親子で熱心に取り組みました。

ミニツリー作りは、地区内に在る精神障害者地域作業所「陽だまり」で緑色等に色付けしていただいた松ぼっくりに、様々な色や形のビーズなどをいっばいに飾り付けて出来上がりです。

受付の段階で「地域の高齢者にプレゼントするので一つ余分に作ってね」とお願いしたところ、終了時点では個性的なミニツリーが沢山集まりました。このプレゼント用のツリーは、星が丘地域包括支援センターなどを通じて地域の一人暮らし高齢者などに配られ、高齢者は思わぬクリスマスプレゼントに感激していました。

クリスマスカード作りは、昨年に続いて中村千鶴先生(絵画教室主宰)

を講師にお迎えして行いました。参加した子ども達からは、「妹やお父さんの誕生日にあげるんだ」などの声がかかれ、クリスマスカード以外にも使っていただけでそう良かったそうです。

キーホルダー作りは、スチレンボードに反射材を貼ってキーホルダーを作るもので、参加者が多くて材料不足となり作品作りをお断りするほどの盛況でした。

グラウンドゴルフは、グラウンドゴルフ普及委員会と共催で星が丘ふれあい広場を会場に行われました。子ども達も加わって楽しく行われ、ホールインワンが14名も出てホールインワン賞が不足するほどでした。ペットボトルキャップ・プラタプ回収は、星が丘キッズの子ども達のお手伝いもありすっかり地域に定着しています。役員が作ったポップコーンと交換したキャップの量は9キログラムとなりました。

